

令和6年度

# 志願者のみなさんへ

全 日 制 課 程

愛媛県立新居浜工業高等学校

〒792-0004

愛媛県新居浜市北新町8番1号

TEL (0897) 37-2029

FAX (0897) 37-6440

## 1 新居浜工業高等学校を目指すみなさんへ

本校では、ものづくり教育と心の教育の二つを柱として、“自ら学び、自ら鍛え、たくましく生きる生徒の育成”に資するとともに、高い専門性を身に付けた、次代を担う、心豊かなものづくり人材の育成に努めています。

### 本校の特色

#### 新居浜工業高等学校 スクールミッション

臨海工業都市である新居浜市にある工業高校として、地域産業の持続的な成長を支える職業人の育成という地域の期待に応えます。また、産業界において必要とされる専門性や実践力を育む活動を通して、自ら学び、自ら鍛え、たくましく生きる人材を育成します。

- (1) 機械科、電子機械科、電気科、情報電子科、環境化学科の5つの学科があります。
- (2) 各科では、産業界における実践的技術者・スペシャリストの育成を目指し、ものづくりを通じた特色ある専門教育を進めています。
  - ・少人数による実験や実習に力を入れ、主体的に取り組める体験的な授業を行っています。
  - ・充実した施設・設備を活用し、多数の指導者による行き届いた授業を行っています。
  - ・すべての学科において、コンピュータを使用した情報教育を行っています。
  - ・実社会で役立つ、国家試験等の資格の取得を奨励し、指導しています。
  - ・福祉教育、環境教育に力を入れ、心豊かな生徒を育成しています。
- (3) 教養豊かな人間形成を目指すため、普通教科の学習も重視しています。
- (4) 高校生活が充実するよう、部活動の活性化に努めており、各部とも目覚ましい成果を収めています。
- (5) 就職はもちろんのこと、推薦入学等による進学にも力を入れ、生徒が希望する進路の保障に努めています。

自分の将来を考えて、適性に合った学科を選択することが大切です。

## 2 募集案内

推薦・一般入学者選抜に関する情報は、教育委員会から配布される「令和6年度愛媛県立高等学校入学者募集要項」で確認してください。

### (1) 推薦入学者選抜

ア 出願資格の詳細は別紙の2参照

イ **2月8日(木)**は、受検者がそろった中学校から本校職員が教室に誘導します。

そろった中学校の引率の先生(いない場合は受検者本人)は、本校職員にお声がけ

ください。また、教室には**午前8時50分**までに入室してください。

ウ 病気、その他やむを得ない事情により、受検できなくなった者は、在籍中学校長を経て、速やかに届け出てください。

## (2) 一般入学者選抜

ア **3月7日(木)、8日(金)**ともに、受検者がそろった中学校から本校職員が教室に誘導します。そろった中学校の引率の先生（いない場合は受検者本人）は、本校職員にお声がけください。また、教室には**午前8時50分**までに入室してください。

イ 病気、その他やむを得ない事情により、受検できなくなった者は、在籍中学校長を経て、速やかに届け出てください。

## (3) 合格者への説明会（予定）

合格者は、**3月21日(木) 午前9時**までに保護者と同伴で、本校に集合してください。持参品は、筆記用具及び教科書その他の学用品購入費（**80,000円～110,000円程度**）です。

なお、当日欠席する者は、速やかに本校（Tel 0897-37-2029）に連絡してください。

# 3 入学後費用等

## (1) 納入金（令和5年度実績）

ア 4月口座振替 45,000円

イ 6月以降 毎月 5,000円 引き落とし

ウ 授業料 〈毎月 9,900円〉 3ヶ月ごとに 29,700円 引き落とし

（ただし、授業料については高等学校等就学支援金制度 不認定者及び未申請の者のみ納付）

## (2) 制服について

現在の本校の制服の価格は、冬服一式（ベスト、セーター別）（男子）49,720円（女子）51,040円 夏服一式（男子）18,150円（女子）19,800円です。

## (3) 主な奨学金制度

種 別	愛媛県奨学資金	交通遺児育英会奨学金
貸与月額	5,000円～18,000円（自宅） 5,000円～23,000円（自宅外）	20,000円～40,000円

なお、一部金額の変更があります。

## 4 工業科(小)学科の紹介

### 《 機 械 科 》

機械はすべての工業の基幹であり、工場の機械設備や機械工作技術は、技術革新が予想される未来の工業生産においても必要不可欠なものといえます。

機械科では、工業生産活動の基礎から最先端までの幅広い知識や技術を学びます。製図、設計、工作、原動機などの基本理論を学習し、機械技術者としての実践力を高めます。また、金属材料の切削、加工、溶接、材料試験、エンジンの分解・組立など、実際に手で触れることでものづくりの基本技術を身に付けます。

### 《 電子機械科 》

機械・電子・情報の融合したメカトロニクス技術は、時計・カメラ・エアコンなどの一般家庭用品から、各種の産業用機械・事務用機械・自動車などに広く利用されています。現在も次々と新しい技術が開発され、今後の発展は計り知れません。このメカトロニクス技術を習得した技術者は、広く社会で必要とされています。

電子機械科では、このような社会の要請にこたえて、メカトロニクス技術分野に関する基礎的な知識と技術を総合的に身に付ける学習をします。

### 《 電 気 科 》

電気は、熱・光・音・映像・情報等いろいろな形に変化して使われており、私たちの生活や産業に不可欠です。これからも、電気は社会全般から一段と期待が寄せられ、特に電気技術者はなくてはならない存在になっています。

電気科は、電気の発生から送電、使用するまでの基礎的・基本的な知識・技術を習得し、将来、電気・電子・情報に関連する分野で活躍するために必要な能力の育成や資格取得に力を入れています。

### 《 情報電子科 》

私たちが営む社会生活では、流通・金融・医療や行政などの各種サービスに情報システムの存在は欠かせないものとなっており、現在ではコンピュータを使うことがあたり前になってきました。

コンピュータで扱うデータは、プログラム処理され、そして接続された機器や装置は、自在に制御・管理されています。

情報電子科では、「電子工学」、「制御」、「情報通信」の各分野について学び、複合的な技術を要し、実社会で活躍できる人材の育成を目指します。

### 《 環境化学科 》

環境問題の解決には、汚染の実態を把握することが必要です。そのための各種分析装置を用いた大気・水質などの調査方法の知識・技術を習得します。微生物を利用した環境保全とクリーンエネルギーについての研究活動も実施できます。

また、化学工業製品がどのような工程を経て、どのような化学反応によって製造されているのかについても学びます。

環境化学科は、地域産業の化学工業製造部門で活躍できる、環境意識を兼ね備えた人材の育成を目指します。